



2024年11月11日

各位

会社名 日本農薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 岩田 浩幸
(コード: 4997、東証プライム)
問合せ先 管理本部総務・法務部長 吉岡 正樹
(TEL. 0570-09-1177)

2025年3月期第2四半期(中間期)業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2024年5月13日に公表しました2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値の差異について (2024年4月1日~2024年9月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	38,700	1,200	1,000	1,200	15円30銭
実績(B)	39,129	1,029	519	620	7円91銭
増減額(B-A)	429	△170	△480	△579	
増減率(%)	1.1	△14.2	△48.1	△48.3	
(ご参考) 前期中間期実績 (2024年3月期 中間期)	40,670	1,176	951	695	8円87銭

2. 差異の理由

インドにおいて、一部地域での豪雨の影響による農薬の散布機会の減少や前年の干ばつにより滞留した流通在庫の影響などから販売が減少したものの、米国や欧州の一部地域での多雨による除草剤需要の高まりや、ブラジルの販売量回復などにより、売上高は、前回発表予想を上回りました。一方、利益面では、米国、欧州およびブラジルなどが期初計画を上回ったものの、インド子会社の販売低迷などから、営業利益は、前回発表予想を下回る結果となりました。経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益は、前述の理由に加え、為替相場の急激な変動などに伴う為替差損の計上により、前回発表予想を下回る結果となりました。

なお、2025年3月期通期見通しにつきましては、主要国での販売が引き続き堅調に推移する見込みであること、また、インドにおいても今後の乾季作に向けた農薬販売が期待できることなどから、2024年5月13日に公表しました業績予想から変更はございません。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。今後の業績動向を踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合は速やかに開示する予定です。

以上